

受診結果届 (保護者記入)

当こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする施設です。感染症の集団での発症や流行を出来るだけ防ぐことで、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症については、基本的には登園許可証明書の持参をお願いしていますが、かかりつけの医師によっては登園許可証明書は必要ないと判断される場合もあります。その際は、登園の目安を参考に、かかりつけ医の診断に従い、『受診結果届』の記入及び提出をお願いします。

きすげこども園 園長 殿

組 園児名

(病名) 該当疾患に○印をお願いします。

| チェック | 感染症名 | 感染しやすい時期(※) | 登園の目安 |
|------|-----------------------|---|--|
| | 溶連菌感染症 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間 | 抗菌薬内服24～48時間経過し、全身状態が良好であること |
| | マイコプラズマ肺炎(感染症) | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間 | 発熱や激しい咳が治まっていること |
| | 手足口病 | 手足や口腔内に水疱・潰瘍が発生した数日間 | 発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること |
| | 伝染性紅斑(りんご病) | 発しん出現前の1週間 | 全身状態が良いこと |
| | ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス) | 症状のある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが、数週間ウイルスを排出しているので注意が必要) | 嘔吐、下痢等の症状が24時間以上みられず、普段の食事がとれること |
| | ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス) | | |
| | ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス) | | |
| | ヘルパンギーナ | 急性期の数日間(便中に1ヶ月程度ウイルスを排出しているので注意が必要) | 発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること |
| | RSウイルス感染症 | 呼吸器症状のある間 | 呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと |
| | 帯状疱疹しん | 水疱を形成している間 | すべての発疹が痂皮(かさぶた)化していること |
| | 突発性発しん | — | 解熱して機嫌が良く全身状態が良いこと |
| | アタマジラミ | 成虫がいる時 | 駆除に努めながら登園可能 医師の診断を受け1回は駆除を受けること |
| | とびひ(伝染性膿痂疹) | 水疱等がある間 | 感染のおそれがないと認めるまで(確実にガーゼで覆い、接触感染を防ぐことができるようであれば登園可能) |
| | ウイルス性肝炎 | A型 発症後1～2ヶ月 B・C型 不定(キャリア化あり) | A型肝炎は肝機能が正常化すれば登園可能。B・C型肝炎の無症状病原体保有者(キャリア)は登園可能 |

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については — としている。

(医療機関名) (年 月 日受診)において

病状も回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので、 年 月 日より登園いたします。

年 月 日

保護者氏名

印